

# 沖縄産コーヒーの生産量



コーヒー栽培者 石関

沖縄産コーヒーの生産量について、よくご質問を頂くことがあるのですが、生産組合として把握している情報で説明させていただきます。

結論から先に言いますと生豆換算で、年間およそ 100~300 kg です（石垣島は除く）

## 【なぜ生産量が少ないのか？】

生産量が少ない理由は、大型台風で壊滅的な被害が出てしまうからです。3~4年前の超大型台風が襲来した時の年生産量は **50 kg未滿** で台風の強弱と進路によってコーヒー生産量は現状、左右されてしまいます。

## 【台風被害後の生産者の選択】

壊滅的な被害が出るとその後

1. コーヒーの木を再生
2. 苗木の植え直し
3. コーヒー栽培をやめる

いずれかの選択になります。

コーヒーの木は倒木しても根の状態にもよりますが再生できる場合もあります。

しかし、再生または苗木の植え直しでコーヒーが順調に育ったとして収穫までには約 2~3年の時間がかかります。



台風被害  
2015年7月10日  
台風9号  
農園推定風速 30m/s

## 【沖縄本島の生産者数】

台風による壊滅的な被害にあうと生産者の多数はコーヒー栽培をやめてしまいます。それでも沖縄のコーヒー生産者数は小規模も含め 50名前後は常におります。これは台風被害で栽培をやめる方も多いのですが、新規で栽培する方もまた多く年々参加者が増えてきております。

このような状況が 10年以上続いておりますが根本的にはコーヒーの生産量は増えません。

## 【コーヒー生産組合の役割】

コーヒーの安定生産が生産量を増やす解決策であり新規でコーヒー栽培する方には台風対策が最も重要かつ必要不可欠であることを情報発信して

コーヒー栽培の難しさを伝えると共に安定生産する栽培技術の確立と共有が急務であります。

## 【事例 安定生産の栽培方法】

ここは森林栽培で地形的に良く台風被害が軽度な農園です



## 【最後に】

今でも沖縄のおみやげショップに行くと常に沖縄産コーヒーが販売されております。どのように生産されているか不思議でありませんが、少し生産できる程度の農園を持って誇張する実態のない国産コーヒー販売業者も存在することから、ご購入の際に精製工程の見学や処理能力に見合った設備の有無、パーチメント豆購入ができるか等いろいろ聞いてみると良いかと思います。